

地産地消と食育、生物多様性の保全に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
フードイノベーション課	2019年04月23日から 2019年05月15日まで	1076	807	75%

今回は、農林水産部フードイノベーション課とみどり共生推進課からのアンケートです。

フードイノベーション課では、三重県産の農林水産物とその加工品をより多くの方に知っていただく「みえ地物一番の日」キャンペーンにより、地産地消運動を推進するとともに、生産者と企業が連携した新たな商品づくりを支援しています。

さらに、地産地消や農林漁業体験などの取組を通じて、食に関する知識や判断力を養う「食育」にも取り組んでいます。

これらの取り組みに活用するために、三重県産の農林水産物への満足度や食育への関心などについてお聞きします。（Q1～Q9の9問です。）

また、みどり共生推進課では、「生物多様性」を保全するため、生物の個体数や生息域の維持回復につながる事業などを行っています。

「生物多様性」とは、簡単に言うと、地球上の動植物が個性豊かに富んでいること、つまり生物そのものの豊かさをいいます。

三重県は、平成24年3月に「みえ生物多様性プラン」を策定し、平成28年3月に「みえ生物多様性プラン（第2期）」として改訂しました。

平成31年度に、このプランの再改訂作業を行うにあたって参考とするために、「生物多様性」の保全などに関するお考えについてお聞きします。（Q10～Q15の6問です。）
ご協力よろしくお願いします。

■ Q1 三重県産食品の購入について

はじめに、フードイノベーション課からお聞きします。

あなたは、食品を購入する場合に、三重県産の食品を意識して購入していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
意識している	126	15.6%
どちらかといえば意識している	435	53.9%
どちらかといえば意識していない	169	20.9%
意識していない	77	9.5%

■ Q2 生鮮物に対する満足度について 1

あなたは、三重県産の生鮮物（青果物、魚介類、米、肉等）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
満足している	262	32.5%
どちらかといえば満足している	491	60.8%
どちらかといえば満足していない	46	5.7%
満足していない	8	1.0%

■ Q3 生鮮物に対する満足度について 2

Q2で、そう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	807	
味、鮮度、栄養などの品質	552	68.4%
量（世帯構成にあっているか）	36	4.5%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	57	7.1%
地元のものへの安心感	645	79.9%
食べやすさ、料理への使いやすさ	67	8.3%
価格、またはお値打ち感	275	34.1%
入手しやすさ、種類など品揃え	262	32.5%
環境への配慮	44	5.5%
その他	20	2.5%

■ Q4 加工食品に対する満足度について 1

あなたは、三重県産の加工食品（三重県産の食材を利用した加工食品）に対してどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
満足している	127	15.7%
どちらかといえば満足している	569	70.5%
どちらかといえば満足していない	99	12.3%
満足していない	12	1.5%

■ Q5 加工食品に対する満足度について 2

Q4でそう感じた理由を3つまで選んでください。

合計	807	
味、鮮度、栄養などの品質	429	53.2%
量（世帯構成にあっているか）	52	6.4%
パッケージデザインや商品の説明のわかりやすさ	95	11.8%
地元のものへの安心感	563	69.8%
食べやすさ、料理への使いやすさ	125	15.5%
価格、またはお値打ち感	214	26.5%
入手しやすさ、種類など品揃え	281	34.8%
環境への配慮	35	4.3%

その他	33	4.1%
-----	----	------

■ Q6 食育への関心について

「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

あなたは、「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
関心がある	317	39.3%
どちらかといえば関心がある	381	47.2%
どちらかといえば関心がない	90	11.2%
関心がない	19	2.4%

■ Q7 日本型食生活について

「日本型食生活」とは、昭和50年代ごろの食生活のことで、ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた食事のことです。あなたは、「日本型食生活」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
知っていた	245	30.4%
言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない	250	31.0%
知らなかった	312	38.7%

■ Q8 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせることで1日に2回以上あるのは週に何回ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
ほとんど毎日	334	41.4%
週に3～5日	273	33.8%
週に1～2日	136	16.9%
ほとんどない	64	7.9%

■ Q9 「みえの安心食材」について

県では、みなさんが安心して県産の食材を購入できるよう、環境に気を配り、かつ安全・安心が確認された方法で生産された野菜や果物、きのこ、卵などに「みえの安心食材」マークを表示する、「人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度」を実施しています。

あなたは、「みえの安心食材」をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
----	-----	--

知っていた	181	22.4%
言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない	238	29.5%
知らなかった	388	48.1%

■ Q10 生物多様性について

ここからは、みどり共生推進課からお聞きします。
あなたは、「生物多様性」という言葉をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
言葉の意味を知っている	216	26.8%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	353	43.7%
聞いたこともない	167	20.7%
わからない	71	8.8%

■ Q11 地球上のさまざまな生物やそれらが生息できる環境を守る取組について

生物多様性の保全のため、世界各地で地球上のさまざまな生物やそれらが生息できる環境を守る取組が進められています。
あなたは、この取組についてどのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	807	
人間の生活がある程度制約されても、多種多様な生物が生息できる環境の保全を優先すべきである	349	43.2%
人間の生活が制約されない程度に、多種多様な生物が生息できる環境の保全を進めるべきである	387	48.0%
人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、多種多様な生物が生息できる環境が失われてもやむを得ない	11	1.4%
わからない	55	6.8%
その他	5	0.6%

■ Q12 自然の働きについて

私たちは、自然のさまざまな恵みをいただきながら、その恵みに感謝し、自然とともに生きる循環型社会を作りあげてきました。あなたが、自然の働きについて重要だと思われるものについて、あてはまるものをすべてお選びください。

合計	807	
魚介類や山菜、果実などの食料を供給する働き	567	70.3%
紙や木材、炭（燃料）などの原材料を供給する働き	379	47.0%

菓の開発や品種改良の基となる遺伝資源を供給する働き	195	24.2%
CO ₂ や大気汚染物質の吸収などの大気や気候を調整する働き	601	74.5%
水資源の供給・水質浄化などの働き	554	68.6%
肥沃な土壌を形成し、大地を維持する働き	364	45.1%
土壌の浸食を抑え、山崩れを防いだり、高潮や洪水を緩和するなど災害を抑止する働き	471	58.4%
動物・植物など生きものの生息・生育地としての働き	489	60.6%
レクリエーション・観光資源の場を提供する働き	116	14.4%
芸術の題材や山岳信仰の拠りどころなどの文化的、精神的な働き	135	16.7%
特になし	6	0.7%
わからない	25	3.1%
その他	11	1.4%

■ Q13 生物多様性の保全のために重要だと考えるものについて 1

生物多様性を保全するためには、国、地方公共団体、事業者、NPOやNGOなどの民間の団体や国民一人ひとりがそれぞれの立場から取り組むことが必要です。あなたが、生物多様性の保全のために重要だと考えるものについて、あてはまるものをすべてお選びください。

合計	807	
国や地方公共団体による生物多様性保全に関する取組の推進	322	39.9%
事業者による生物多様性に配慮した事業活動や社会貢献活動	430	53.3%
NPOやNGOによる生物多様性の保全に関する活動	248	30.7%
各人による生物多様性に配慮した商品の購入などの消費行動や、ライフスタイル	415	51.4%
専門家や研究者による生物多様性に関する調査研究	295	36.6%
メディアによる生物多様性に関する記事の掲載や、生きものの生態に関する番組の放送など、様々な情報発信	412	51.1%
特になし	18	2.2%
わからない	81	10.0%
その他	15	1.9%

■ Q15 生物多様性の保全に配慮したライフスタイルについて

あなたは、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

合計	807	
旬のもの、地のものを選んで購入する	545	67.5%
身近な生きものを観察したり、外に出て自然と積極的にふれあったりする。	258	32.0%
エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する	68	8.4%
自然保護活動や環境美化活動に参加する	234	29.0%
生きものを最後まで責任を持って育てる	321	39.8%
環境に配慮した商品を優先的に購入する	334	41.4%
自然や生きものについて、家族や友人と話し合う	160	19.8%
節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む	472	58.5%
特に行う予定はない	30	3.7%
わからない	20	2.5%
その他	16	2.0%